

# Coffee Market Report

June 2023



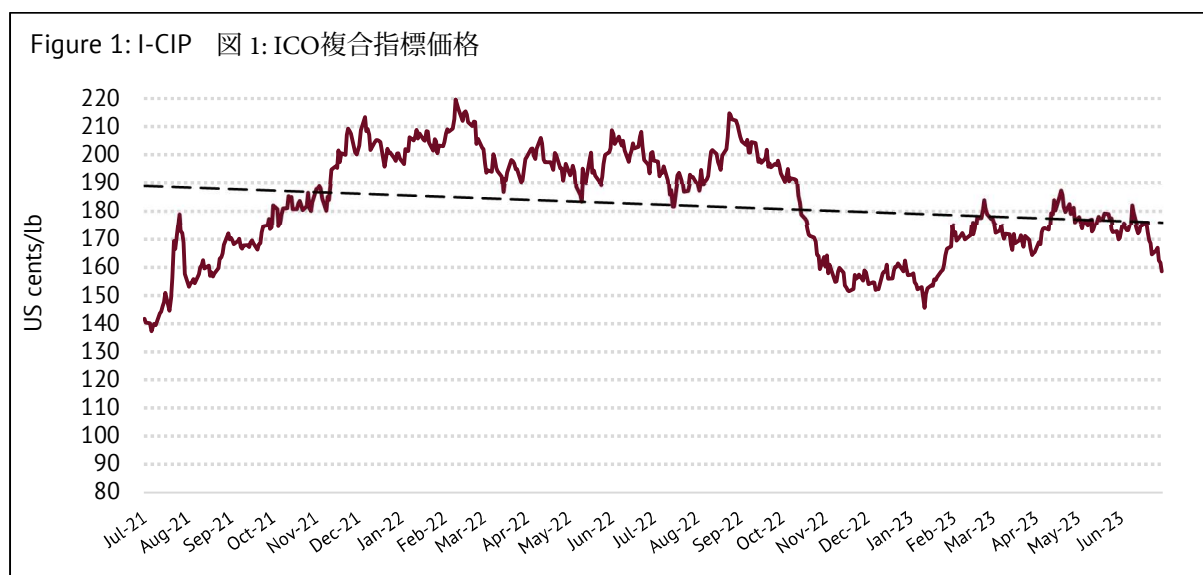
INTERNATIONAL  
COFFEE  
ORGANIZATION

## アラビカとロブスタの価格差が縮小する中でロブスタは28年ぶりの高値を記録した

- ICO総合指標価格（I-CIP）は2023年5月から6月にかけて2.4%下落し、月次平均は171.25セント（USセント/ポンド、以下同様）で、中央値は172.92セントだった。
- 2023年6月のグループ指標価格は、ロブスタが7.8%上昇し132.13セントとなったが、それ以外は全て下落した。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は34.5%縮小し4.46セントだった。
- 6月のコロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差の縮小は著しく、下旬の平均価格差はマイナス2.57セントだった。
- I-CIPのボラティリティは一貫して低下し5月から6月にかけて0.5ポイント低下の8.1%となった。
- ニューヨークとロンドンの認証在庫はそれぞれ8.5%減少、9.7%減少した。ニューヨークアラビカは60万袋、ロンドンロブスタは125万袋だった。
- 2023年5月の世界のグリーンコーヒー輸出量は956万袋で前年同時期の961万袋に対して0.6%減少した。
- アザーマイルドの5月の生豆輸出量は前年同時期の236万袋から8.7%増の257万袋だった。
- ブラジルナチュラルの生豆輸出量は14.8%減の243万袋だった。
- コロンビアマイルドは91万袋で前年5月の98万袋から7.2%減少した。
- ロブスタは365万袋で前年5月の342万袋から6.8%増加した。
- 5月の南米のコーヒー輸出量は11.5%減の347万袋だった。地域の主要生産国であるブラジル、コロンビア、ペルーの3カ国の輸出量が12.29%減少したことによる。
- アフリカの輸出量は114万袋で前年5月の123万袋から7.2%減少した。
- メキシコ・中米の輸出量は214万袋で前年5月の191万袋から12.4%増加した。
- アジア・オセアニアの5月輸出量は13.1%増の394万袋で、2022/23コーヒー年度の経過8か月では3.2%増の3,173万袋だった。
- ソリュブルコーヒーの5月輸出量は前年5月の86万袋から24.6%増の107万袋だった。
- 焙煎豆の輸出量は2022年5月の6万8,003袋に対し2023年5月は7万2,925袋で4.8%減少した。
- 世界のコーヒー生産量は、2021/22コーヒー年度が前年比1.4%減の1億6,850万袋だったのに対して、2022/23年度は1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。
- 世界のコーヒー消費量は、2021/22コーヒー年度は4.2%増の1億7,560万袋、2022/23年度は1.7%増の1億7,850万袋と予想されている。
- その結果、世界のコーヒー市場は2年連続の供給不足が予想されており、2022/23コーヒー年度には730万袋の不足が見込まれる。

## グリーンコーヒー価格

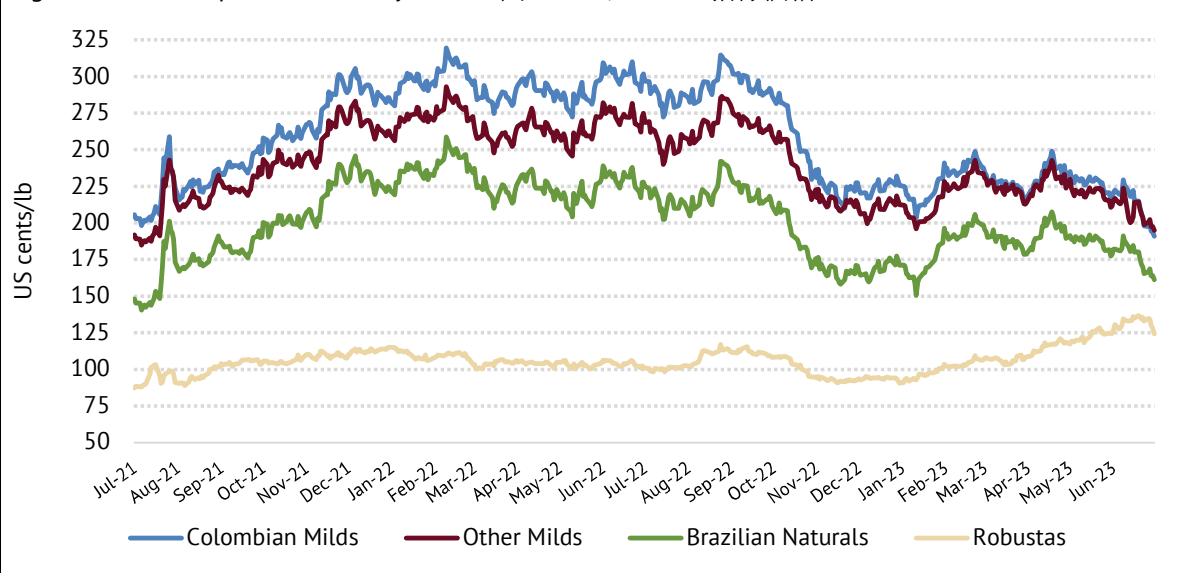
ICO総合指標価格（I-CIP）は2023年5月から6月にかけて2.4%下落し、月次平均は171.25セント、中央値は172.92セント、6月の価格レンジは158.47～182.04セントだった。今シーズンのクroppに有利な気象条件があったとの一部報道を受けてニューヨーク先物市場が下落したため、ICO複合指標価格は6月後半には15セント下落したが、引き続き堅調な水準を保った。更に、今年に入ってから米ドルはブラジルレアルに対して下落しており、1月2日の5.36レアルから5月31日には5.06レアルまで5.9%下落した。6月には米ドルがさらに下落し、6月26日には4.76レアルまで下落しICO複合指標価格は下落の勢いを強めブラジルナチュラル価格は下方圧力を受けた。ブラジルレアル為替レートの上昇は、従来ならブラジルナチュラルの価格に上方圧力となる場合が多かったが、6月には11.4%下落した。これは、地域の現在および今後見込まれる良好な天候の好影響が為替の影響を上回るであろうことを示唆している。一方、ロブスタは堅調なロンドン市場の動きに支えられて価格は上昇を続けており、裁定取引は2年半ぶりの低水準を記録した。



2023年6月のグループ指標価格は、ロブスタが7.8%上昇し132.13セントとなったが、それ以外は全て下落した。コロンビアマイルドとアザーマイルドはそれぞれ6.6%と5.8%下落し、211.8セントと207.39セントだった。ブラジルナチュラルは5.5%下落、176.48セントだった。ニューヨーク先物市場は4.7%下落したが、ロンドン先物市場は5.9%上昇し、それぞれ174.54セント、119.23セントだった。

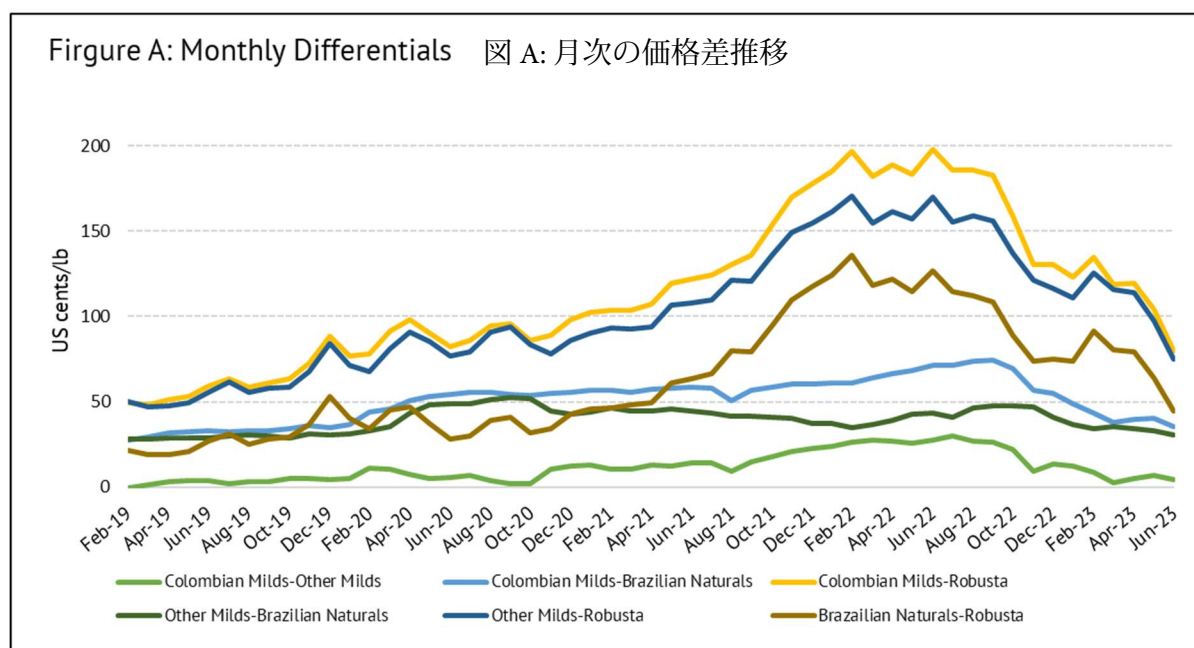
6月のコロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は34.5%縮小し4.46セントだった。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差、コロンビアマイルドとロブスタの価格差は、いずれも11.9%と23.6%縮小しそれぞれ35.36セントと79.72セントだった。アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差は30.90セントで縮小幅は7.3%と相対的に緩やかだった。その一方、アザーマイルドとロブスタの価格差、およびブラジルナチュラルとロブスタの価格差はそれぞれ、22.9%縮小して75.26セント、および31.0%縮小して44.36セントだった。

Figure 2: ICO Group Indicator Daily Prices 図 2: ICOグループ指標価格



6月のコロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差の縮小は著しく、下旬の平均価格差はマイナス2.57セントを記録した。この時のコロンビアマイルドの下落幅は13.4%、一方、アザーマイルドの下落は9.6%で、アザーマイルドに対してコロンビアマイルドの下落幅が大きかったことから、月末の7営業日間に波及効果が生じた。コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差がマイナスになり、アザーマイルドがコロンビアマイルドよりも高価となる事態となった。この傾向は、アラビカとロブスタの価格が乖離し、高品質で価格の高いアラビカに対して、より安価なコーヒーに対する価格主導の需要代替からロブスタが求められるという広範な現象に通じている。ただし、コロンビアマイルドを生産しているのはコロンビア、ケニア、タンザニアだけであるため、アラビカ総生産量に占める割合が小さいため、需要面の変化がより顕著に現れることに注意すべきであろう。6月にロブスタは強い需要を背景に1995年2月以来の最高値を記録したにもかかわらず終盤では1.8%下落している。

Figure A: Monthly Differentials 図 A: 月次の価格差推移



現在、アラビカとロブスタの価格差は2020年10月以降の最低水準となっており、高級品質コーヒーの需要が減退し、より価格競争力のあるコーヒーが支持されている。それぞれのコーヒーグループの持つ品質はさまざまであり全体的にその価格差が縮まっている。この価格差の縮小は、コロンビアマイルドとブラジルリアル、コロンビアマイルドとロブスタ、アザーマイルドとブラジルナチュラル、およびアザーマイルドとロブスタの価格差において3年半ぶりの安値を記録した。価格動向の跛行性による価格差の縮小は、欧州中央銀行、イングランド銀行、米国財務省の政策による世界的な金利上昇に起因すると考えられる。事業資金の借り入れコストの増加に直接的な影響を及ぼし、過大な金利負担や返済手数料が営業利益を浸食することから、コーヒーサプライチェーンの利害関係者はレバレッジの活用を控えることとなる。結果として、コーヒー調達の予算は制限を受け、バイヤーはより競争力の高い産地に焦点を当て、調達コストの増加を避けるようになる。消費者やメーカーが物価高を理由に安価なロブスタにシフトする傾向にあること、世界最大のアラビカ種生産国（ブラジル）の安定した収穫が続きコーヒー豆の供給量が増加していることなどが、ロブスタ価格の継続的な上昇に加え、アラビカとの価格差が3年半ぶりに低いことの要因である。

図3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

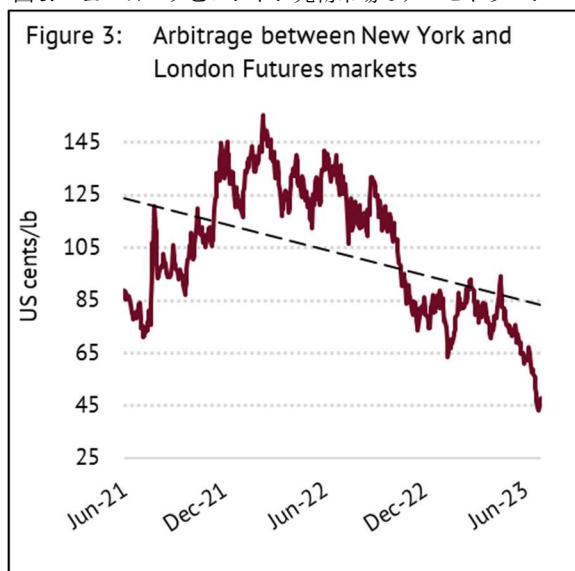
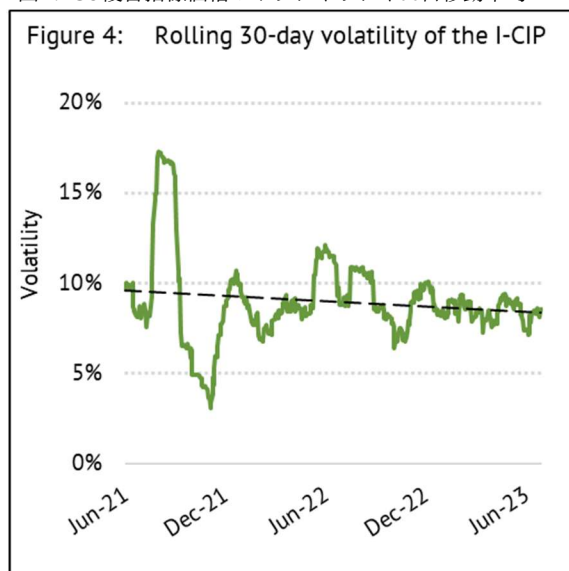
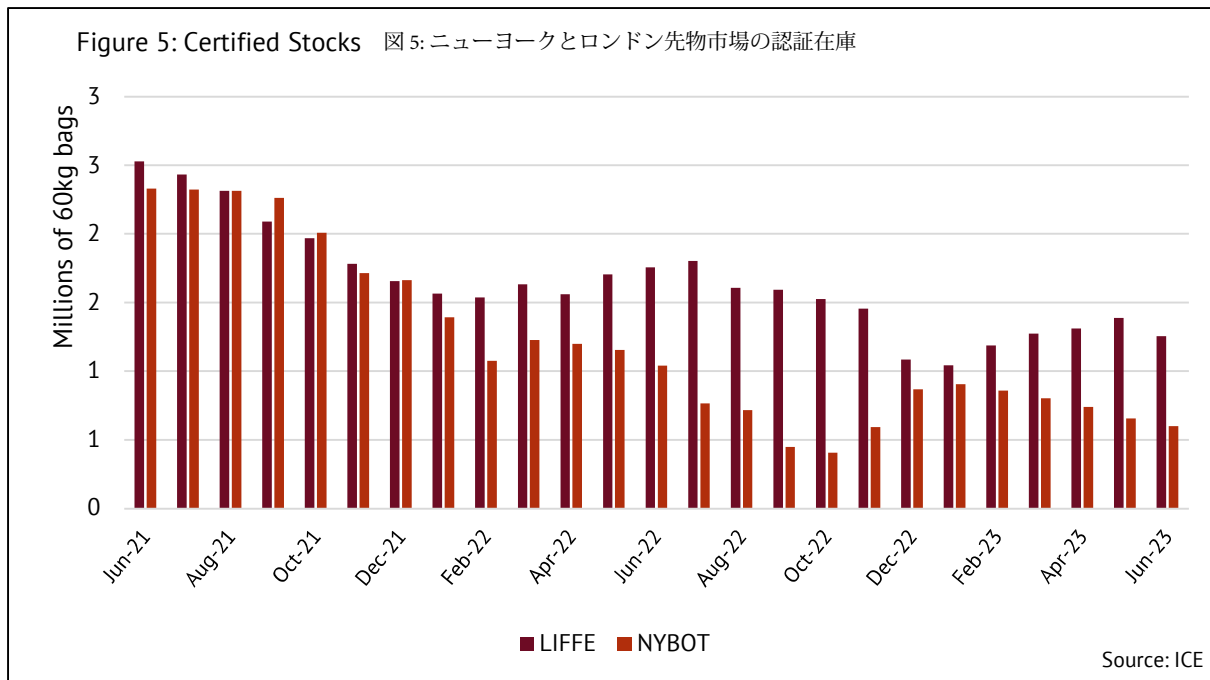


図4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された裁定取引は、ロブスタ価格の上昇がニューヨーク市場を上回ったため、6月は22.6%縮小して50.31セントとなった。これは、2020年11月の52.66セント以来の最安値となる。

ICO複合指標価格のボラティリティは一貫して下降傾向をたどり、5月から6月にかけて0.5ポイント低下して8.1%だった。アザーマイルドとロブスタのボラティリティが最も大きく上昇した。ともに0.8ポイント上昇し、それぞれ11.1%と8.2%だった。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルは8.2%と9.5%に低下したが、ロブスタは0.8ポイント上昇して8.2%だった。ただし、ロンドンおよびニューヨークの先物市場のボラティリティは、ニューヨークが0.8%ポイント低下して9.6%だったが、ロンドンは0.7%ポイント上昇して8.2%だった。



ニューヨークとロンドンの認証在庫はそれぞれ、8.5%減少と9.7%減少、60万袋と125万袋だった。

## コーヒーグループ別の輸出量 - グリーンビーンズ

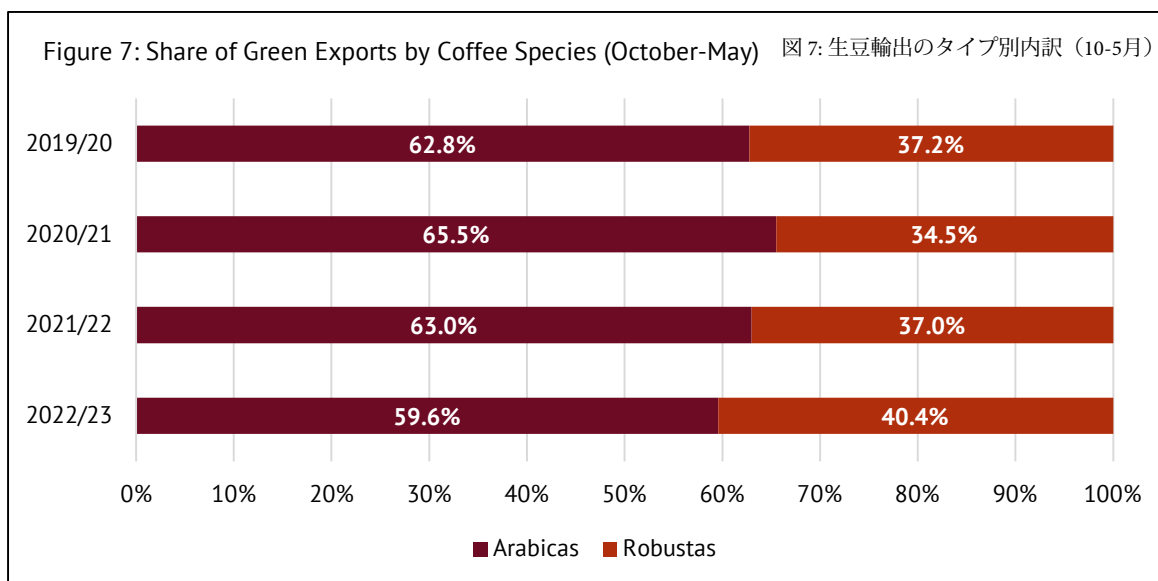
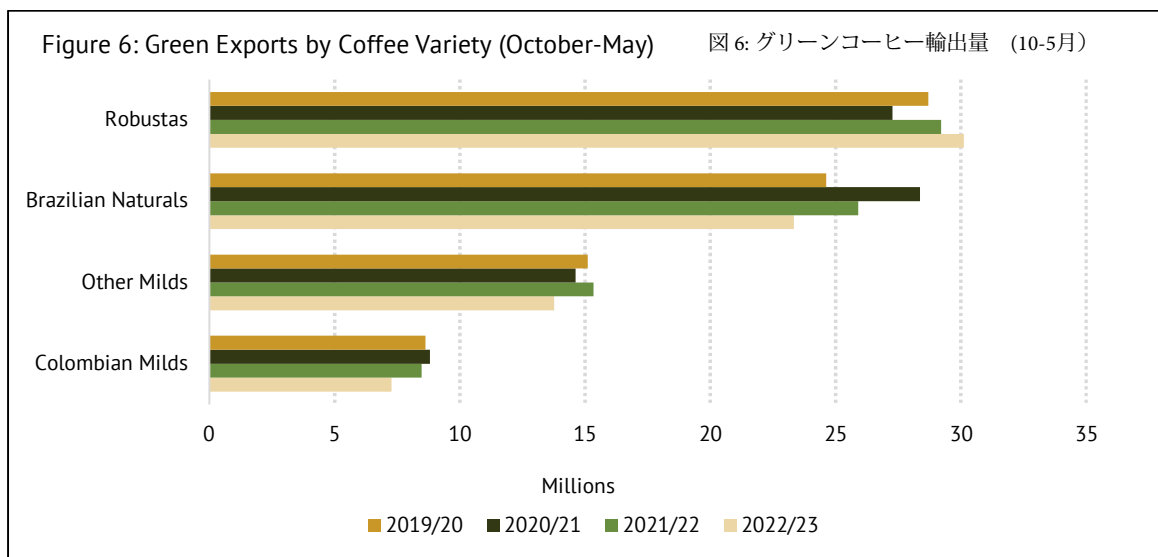
2023年5月の世界のグリーンビーンズ輸出量は956万袋、前年同月は961万袋に対し0.6%減だった。減少の主因はコロンビामイルドとブラジルナチュラルで、2022/23コーヒー年度が始まって以来、グリーンビーンズの輸出量は6か月連続で減少している。その結果、2022/23年度経過8か月累計は7,459万袋となり、前年同時期の7,901万袋と比べて5.6%減少した。

アザーマイルドの5月の輸出量は前年5月の236万袋から8.7%増加し257万袋だった。今年度、アザーマイルドの輸出量が増加したのは3月の1.9%増以来2回目だが、回復にもかかわらず累計では減少を続け、2022/23コーヒー年度経過8か月では10.5%減、2021/22年同時期の1,538万袋に対して1,377万袋だった。

ブラジルナチュラルの5月の生豆輸出量は14.8%減の243万袋、2022/23コーヒー年度経過8か月間では2,340万袋で、前年同時期の2,593万袋から9.8%減少した。ブラジルナチュラルの輸出動向は、最大の生産国かつ輸出国であるブラジルの生豆輸出の変化に依拠するもので、同国の5月輸出量は前年5月の253万袋から212万袋（-16.2%）に減少している。

コロンビामイルドの5月の輸出量は91万袋で、2022年5月の98万袋から7.2%減少した。このグループの最大生産国であるコロンビアの生豆輸出が5月に10.3%減少したことによる。コロンビामイルドは11か月連続の輸出量減少であり、その結果、2022/23コーヒー年度経過8か月の輸出量は、2021/22年度同時期の848万袋から14.1%減の728万袋だった。

ロブスタの5月の生豆輸出量は365万袋で、2022年5月の342万袋に対し6.8%増加した。2022/23コーヒー年度経過8か月では3,013万袋、2021/22年度同時期は2,922万袋だった。



## 地域別の輸出量 - 全形態のコーヒー

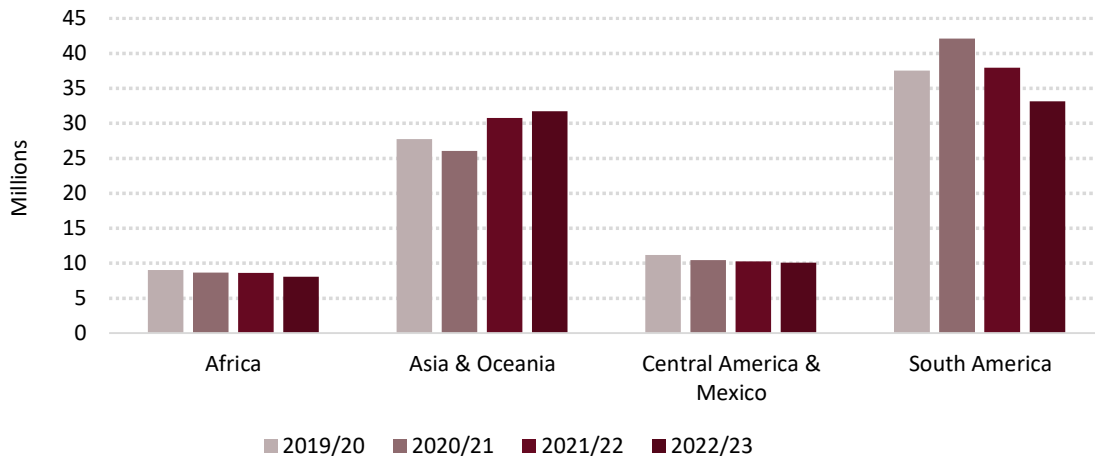
5月の南米のコーヒー輸出量は11.5%減の347万袋だった。地域の主要生産国であるブラジル、コロンビア、ペルーの3カ国の輸出量が12.29%減少したことによる。ブラジルとコロンビアの5月輸出量はそれぞれ12.2%減少と10.6%減少し、246万袋と85万袋だった。両国とも、供給のアベイラビリティが輸出減少の要因となっている。コロンビアでは大雨の影響で5月の生産量が21%減少した。ブラジルでは2年連続で収穫量が平年を下回ったため供給が比較的逼迫しており、特に今2022/23シーズンは霜と干ばつの両方に苦しんでいる。

ペルーの輸出量は大幅減少が継続しており、5月は24.9%減少した。2022年12月に始まった社会不安の継続に加え、不安定な天候もペルーの輸出低迷の一因となっている。5月の異例の減少率の背後には技術的要素もある。まず、2022年5月の輸出は137,948袋で54.7%増の異例の高水準だったこと。一方で、2014年から2021年までの5月の平均輸出量は97,969袋であること。従い、2023年5月の輸出量103,649袋は過去の平均と比較すると増加率は5.7%程度となる。アフリカの5月の輸出量は114万袋で2022年5月の123万袋から7.2%減少、2022/23コーヒー年度経過8か月は810万袋で、前年度同時期の860万袋に対し5.8%減少した。コートジボワールとエチオピアが地域の輸出減少の主因であり、5月の両国の合計輸出量は前年5月の56万袋から19.4%減少し45万袋だった。エチオピアではコーヒーの現地価格と国際価格の乖離に起因する契約紛争が発生し、2023年初頭から輸出量に影響を与えており輸出業者は紛争が解決するまでコーヒーの供給を控えている。

メキシコ・中米の5月の輸出量は、2022年5月の191万袋から12.4%増加して214万袋だった。月次の輸出量が増加したのは2022/23コーヒー年度経過8か月に3回目となり、その結果、累計での減少率は急激に縮小し、今年度の経過8か月の累計は1,003万袋で2.1%の減少である（経過7か月での減少率は5.4%）。輸出復調の要因はホンジュラスで5月の輸出量は2022年5月の52万袋から58.0%増の83万袋となり、5月としては2000年の80.4%増以来最大の伸び率となった。輸出増加の要因は2つある。1つ目は技術的なもので、2022年5月の輸出が前年比37.3%の大幅減であったことの反動、2つ目は物流の月ズレによるもので、2023年4月に予定されていた出荷が5月に延期されたこと。今コーヒー年度経過8か月間でホンジュラスは358万袋を輸出し2021/22年度の333万袋から7.5%増加した。

アジア・オセアニアの5月の輸出量は13.1%増加して394万袋、2022/23コーヒー年度の経過8か月では3.2%増加して3,173万袋だった。増加の要因はインドネシアで、5月輸出量は171.7%増加したが、これは2022年5月の前年比52.8%減の反動がある。インドネシアの5月の過去平均輸出量は54万袋であるが、2022年5月には23万袋まで減少、2023年5月には62万袋まで急増し過去4番目の水準となった。過去の平均（2017～2021年）と比較すると、2023年5月の輸出量増加率は14.9%となり、年度年初からの累計増加率8.1%（2022/2年度10月～5月対2021/22年度同時期）とほぼ整合している。

Figure 8: Total Exports by Producing Regions (October-May) 図 8: 生産地域別輸出量 (10-5月)

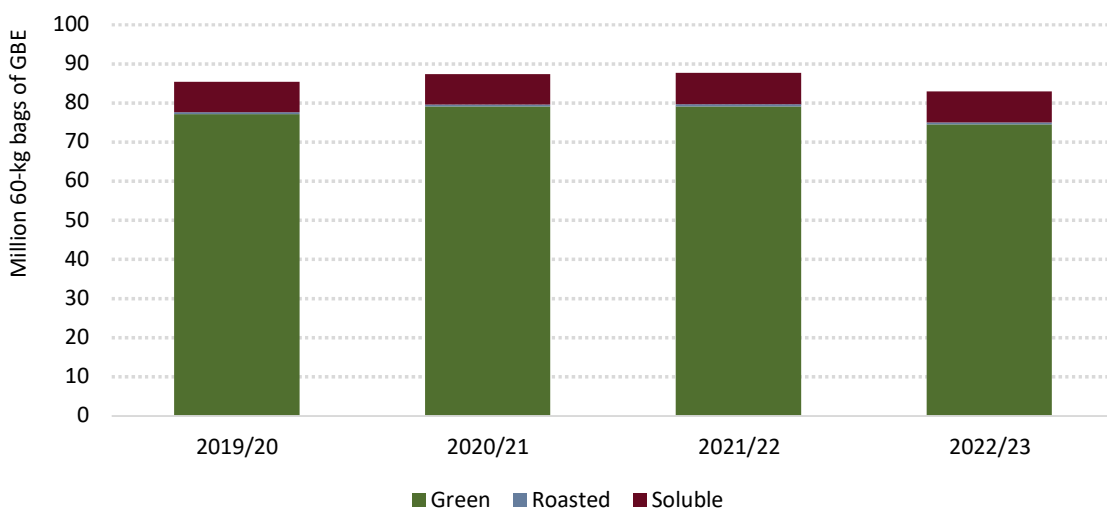


## 形態別のコーヒー輸出量

ソリュブルコーヒーの5月の輸出量は、2022年5月の86万袋から24.6%増加し107万袋だった。2022/23コーヒー年度経過8か月間では793万袋で、前年度同時期の796万袋から0.4%減少した。全形態のコーヒー輸出合計に占めるソリュブルコーヒーのシェアは、2023年5月時点で9.6%（12か月移動平均で測定）で2022年5月の9.0%から増加した。ソリュブルコーヒーの最大輸出国ブラジルの5月輸出量は32万袋だった。

焙煎豆の5月の輸出量は6万8,003袋で2022年5月の7万2,925袋から6.7%減少した。2022/23コーヒー年度経過8か月累計は48万袋で前年同時期は52万袋だった。

Figure 9: Total Exports by Form (October-May) 図 9: コーヒー輸出量 (形態別/10-5月)





## 生産量と消費量

2021/22年度および2022/23年度のコーヒー生産量と消費量の推定値および見通しに変更は無い。

2021/22コーヒー年度の世界コーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。裏年の隔年結果および多くの主要生産国での悪天候が減少要因となった。しかし、2022/23年度には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界的な肥料コストの上昇と悪天候により、ブラジルの表年の隔年結果の生産量増加が部分的に相殺されることが想定され、このために2022/23年度における生産量増加率は比較的低いものとなっている。アラビカの2022/23コーヒー年度生産量は前年度の7.2%減少に対して4.6%増加して9,860万袋と予想され、表年の隔年結果の好影響が見込まれる。生産量の循環的な変動を反映して、コーヒー総生産量に占めるアラビカのシェアは、2021/22年度の55.9%から2022/23年度は57.5%に増加すると予想される。南アメリカ地域の生産量は2021/22コーヒー年度に7.6%減少を記録し、ほぼ20年ぶりの大幅な生産量減少となったが、現在そして今後も世界最大のコーヒー生産地域であり続けるだろう。2022/23コーヒー年度は隔年結果の影響もあり回復が見込まれ、地域の生産量は6.2%増の8,240万袋に達すると予想されている。

2021/22年コーヒー年度の世界のコーヒー消費量は、2020/21年度の0.6%増に続き、4.2%増の1億7,560万袋だった。新型コロナウイルスの流行時期に蓄積した需要の顕在化と、2021年の6.0%という急激な世界経済の成長によって、2021/22年度におけるコーヒー消費量の急激な回復を示した。2022年および2023年の世界経済の減速は、生活費の劇的な上昇と相まって2022/23年度のコーヒー消費量に影響を与えるだろう。消費量は増加が見込まれるものの、その増加率は1.7%に減速して消費量は1億7,850万袋と予想される。世界的なコーヒー消費の減速は非生産国に起因していると想定され、ヨーロッパ地域のコーヒー消費量の減速が最も著しい。同地域の消費量は2021/22コーヒー年度の6.0%増から2022/23コーヒー年度は0.1%増に低下すると予測されている。

その結果、世界のコーヒー市場の需給関係は2年連続の供給不足と予想され2022/23年度は730万袋の不足が見込まれる。

(後略)

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
<b>Monthly averages</b>							
Jun-22	202.46	301.57	273.69	230.40	103.81	229.38	94.48
Jul-22	190.82	286.07	255.91	214.80	100.44	210.84	89.60
Aug-22	200.11	295.66	268.43	221.91	109.65	218.53	98.75
Sep-22	199.63	294.09	267.49	219.59	111.36	218.24	100.49
Oct-22	178.54	261.95	240.08	192.27	103.01	191.72	92.16
Nov-22	156.66	223.22	213.85	166.54	92.59	164.80	82.67
Dec-22	157.19	224.12	210.24	169.00	93.76	166.21	83.95
Jan-23	156.95	218.91	206.76	170.03	95.98	159.80	85.82
Feb-23	174.77	238.39	229.73	195.18	103.93	180.93	94.26
Mar-23	170.03	225.23	222.36	187.02	106.49	176.17	96.60
Apr-23	178.57	234.85	229.56	195.26	115.70	187.30	105.43
May-23	175.48	226.93	220.12	186.80	122.55	183.13	112.56
Jun-23	171.25	211.85	207.39	176.48	132.13	174.54	119.23
<b>% change between May-23 and Jun-23</b>							
	-2.4%	-6.6%	-5.8%	-5.5%	7.8%	-4.7%	5.9%
<b>Volatility (%)</b>							
May-23	8.6%	9.4%	10.3%	10.8%	7.4%	10.4%	7.5%
Jun-23	8.1%	8.2%	11.1%	9.5%	8.2%	9.6%	8.2%
<b>Variation between May-23 and Jun-23</b>							
	-0.5	-1.2	0.8	-1.3	0.8	-0.8	0.7

\* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
Jul-22	30.16	71.27	185.63	41.10	155.46	114.36	121.24
Aug-22	27.23	73.75	186.01	46.52	158.78	112.26	119.79
Sep-22	26.60	74.50	182.74	47.90	156.13	108.23	117.74
Oct-22	21.87	69.68	158.94	47.82	137.07	89.25	99.56
Nov-22	9.37	56.68	130.63	47.31	121.26	73.95	82.13
Dec-22	13.88	55.12	130.36	41.24	116.48	75.24	82.26
Jan-23	12.15	48.88	122.93	36.73	110.78	74.05	73.97
Feb-23	8.66	43.21	134.46	34.55	125.80	91.25	86.67
Mar-23	2.87	38.21	118.74	35.34	115.87	80.53	79.57
Apr-23	5.30	39.60	119.15	34.30	113.86	79.56	81.88
May-23	6.81	40.13	104.38	33.32	97.57	64.25	70.57
Jun-23	4.46	35.36	79.72	30.90	75.26	44.36	55.31
<b>% change between May-23 and Jun-23</b>							
	-34.5%	-11.9%	-23.6%	-7.3%	-22.9%	-31.0%	-21.6%

\* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2017	2018	2019	2020	2021	2022*	% change 2022/21
<b>PRODUCTION</b>	<b>167,568</b>	<b>169,884</b>	<b>168,387</b>	<b>170,868</b>	<b>168,485</b>	<b>171,268</b>	<b>1.7%</b>
Arabica	97,862	99,615	96,670	101,577	94,248	98,559	4.6%
Robusta	69,707	70,269	71,717	69,290	74,237	72,709	-2.1%
Africa	17,428	18,523	18,698	19,281	19,132	19,405	1.4%
Asia & Oceania	52,214	48,069	49,307	47,912	52,102	49,713	-4.6%
Mexico & Central America	21,475	21,361	19,321	19,747	19,655	19,726	0.4%
South America	76,453	81,934	81,064	83,937	77,596	82,424	6.2%
<b>CONSUMPTION</b>	<b>165,637</b>	<b>170,876</b>	<b>167,593</b>	<b>168,569</b>	<b>175,605</b>	<b>178,534</b>	<b>1.7%</b>
Exporting countries	51,575	52,234	51,441	52,518	53,615	55,369	3.3%
Importing countries (Coffee Years)	114,062	118,642	116,152	116,051	121,991	123,165	1.0%
Africa	11,707	11,921	12,034	12,552	12,877	13,403	4.1%
Asia & Oceania	38,819	39,572	39,198	41,289	42,828	44,162	3.1%
Mexico & Central America	5,667	5,805	5,857	5,882	5,967	6,124	2.6%
Europe	53,523	55,449	53,953	52,237	55,359	55,388	0.1%
North America	29,939	31,789	30,581	30,228	31,679	32,078	1.3%
South America	25,981	26,340	25,969	26,381	26,895	27,379	1.8%
<b>BALANCE</b>	<b>1,932</b>	<b>-992</b>	<b>794</b>	<b>2,298</b>	<b>-7,120</b>	<b>-7,266</b>	

\*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出量

	May-22	May-23	% change	Year to Date Coffee Year		
				2021/22	2022/23	% change
<b>TOTAL</b>	<b>10,544</b>	<b>10,695</b>	<b>1.4%</b>	<b>87,498</b>	<b>83,002</b>	<b>-5.1%</b>
Arabicas	6,675	6,529	-2.2%	54,147	49,018	-9.5%
Colombian Milds	1,076	993	-7.7%	9,246	8,020	-13.3%
Other Milds	2,575	2,819	9.5%	17,127	15,732	-8.1%
Brazilian Naturals	3,023	2,716	-10.1%	27,773	25,266	-9.0%
Robustas	3,869	4,166	7.7%	33,352	33,984	1.9%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	Jul-22	Aug-22	Sep-22	Oct-22	Nov-22	Dec-22	Jan-23	Feb-23	Mar-23	Apr-23	May-23	Jun-23
New York	0.77	0.72	0.45	0.41	0.59	0.87	0.91	0.86	0.80	0.74	0.66	0.60
London	1.80	1.61	1.59	1.52	1.45	1.08	1.04	1.19	1.27	1.31	1.39	1.25

In million 60-kg bags